

平成25年度自己評価表

1. 学校の教育目標

新潟こども医療専門学校は、学校法人新潟高度情報学園の組織の中の一つとして位置づけられており、「商業実務および教育・社会福祉分野において、専門的な知識・技術と合わせ、教養人格の高い道義・礼節・作法をも身に付けた人材の育成を図る」という本学の教育理念の実践の教育機関である。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

退学者数を減少させるため担任のみならず学科間の共有を強化し協力体制を整備する。

公務員合格に向け、公務員向けの対策授業を強化し一層充実させることで合格者の増加を図る。

教養人格を高めるため教職員自ら実践し学生への指導を徹底する。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) . 教育理念・目標

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・ 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4 3 2 1 4
・ 学校における職業教育の特色は何か	4 3 2 1 4 3
・ 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4 3 2 1 4 3
・ 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に 周知されているか	4 3 2 1 4
・ 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに 向けて方向づけられているか	4 3 2 1 4 3

① 課題

現在の社会的ニーズを踏まえ学科ごとの特色を生かした教育的取り組みをしていく必要がある。教育目標の徹底はなされているが、それが学生確保につながっている学科とそうでない学科があるのが現実である。他の専門学校との差別化を目に見える形にすることが必須である。

② 今後の改善方策

学科ごとに課題は異なることから、学科ごとの特色を生かした方策が必要である。保育科は社会的ニーズの高まりから学生数も増えているため定員増を図る。医療ビジネス科は学生確保に向け、新たな講座に取り組んでいく。

③ 特記事項

特になし

(2) . 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・ 目的等に沿った運営方針が策定されているか	4 3 2 1
・ 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4 3 2 1
・ 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、 有効に機能しているか	4 3 2 1
・ 人事、給与に関する規程等は整備されているか	4 3 2 1
・ 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4 3 2 1
・ 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4 3 2 1
・ 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4 3 2 1
・ 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4 3 2 1

① 課題

運営組織における意思決定機関は整備されてはいるが、さらに充実化を図り効率よく運営できるよう工夫する。
コンプライアンス体制の整備を具体的に推進していく。

② 今後の改善方策

意思決定機関を詳細に分類し、即座に対応できるように定期的に部署ごとの会議によって迅速かつ丁寧に決定できるようにしていく。
適切に役割分担化された業務マニュアルに基づいて業務管理・チェック体制・サポート体制を整備する。

③ 特記事項

特になし

(3) . 教育活動 (医療ビジネス科)

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・ 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④ 3 2 1
・ 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に 対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4 ③ 2 1
・ 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④ 3 2 1
・ キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の 工夫・開発などが実施されているか	④ 3 2 1
・ 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・ 見直し等が行われているか	④ 3 2 1
・ 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、 実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	④ 3 2 1
・ 授業評価の実施・評価体制はあるか	④ 3 2 1
・ 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	④ 3 2 1
・ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④ 3 2 1
・ 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④ 3 2 1
・ 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保 しているか	④ 3 2 1
・ 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保 するなどマネジメントが行われているか	4 ③ 2 1
・ 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力 育成など資質向上のための取組が行われているか	4 ③ 2 1
・ 職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 ③ 2 1

① 課題

授業の大半が資格取得に直結したものであり、教職員の指導力をより一層上げることが必要である。

② 今後の改善方策

教職員が外部講習を積極的に活用し、他の取り組みを学ぶ機会を設けていく。また企業からの情報収集を行い、求められる人物像を把握した上で指導を行うべきである。

③ 特記事項

特になし

(3) . 教育活動 (保育科)

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・ 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4 (3) 2 1
・ 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に 対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4 (3) 2 1
・ 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4 (3) 2 1
・ キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の 工夫・開発などが実施されているか	4 (3) 2 1
・ 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・ 見直し等が行われているか	(4) 3 2 1
・ 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、 実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	(4) 3 2 1
・ 授業評価の実施・評価体制はあるか	4 (3) 2 1
・ 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	(4) 3 2 1
・ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	(4) 3 2 1
・ 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	(4) 3 2 1
・ 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保 しているか	(4) 3 2 1
・ 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保 するなどマネジメントが行われているか	4 (3) 2 1
・ 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力 育成など資質向上のための取組が行われているか	4 (3) 2 1
・ 職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 (3) 2 1

① 課題

教職員の指導力や授業の質の向上が必要である。

② 今後の改善方策

授業の質が落ちないように、学校内部で今以上に職員の指導力を把握しなければならない。
他の職員が授業を見学し意見を交わすなど、積極的に行えると良い。

③ 特記事項

特になし

(3) . 教育活動 (こども発達学科)

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・ 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4 3 2 1
・ 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に 対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4 3 2 1
・ 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4 3 2 1
・ キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の 工夫・開発などが実施されているか	4 3 2 1
・ 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・ 見直し等が行われているか	4 3 2 1
・ 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、 実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4 3 2 1
・ 授業評価の実施・評価体制はあるか	4 3 2 1
・ 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4 3 2 1
・ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4 3 2 1
・ 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4 3 2 1
・ 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保 しているか	4 3 2 1
・ 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保 するなどマネジメントが行われているか	4 3 2 1
・ 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力 育成など資質向上のための取組が行われているか	4 3 2 1
・ 職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 3 2 1

① 課題

[教育課程、カリキュラムの体系化のため、教職員研修（学内研修）の時間の確保が必要である。]

② 今後の改善方策

[現在の教職員数で学生に対して一貫した指導ができるよう、さらに連携が必要である。]

③ 特記事項

[職員研修について一人一回は県外を含む研修会に積極的に参加させていただき、能力開発や職員の
資質知識の向上に繋げていけるようにしていきたい。]

(3) . 教育活動 (こども未来学科)

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・ 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4 (3) 2 1
・ 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に 対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4 (3) 2 1
・ 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	(4) 3 2 1
・ キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の 工夫・開発などが実施されているか	4 (3) 2 1
・ 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・ 見直し等が行われているか	4 (3) 2 1
・ 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、 実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4 (3) 2 1
・ 授業評価の実施・評価体制はあるか	(4) 3 2 1
・ 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4 (3) 2 1
・ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4 (3) 2 1
・ 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	(4) 3 2 1
・ 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保 しているか	(4) 3 2 1
・ 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保 するなどマネジメントが行われているか	4 (3) 2 1
・ 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力 育成など資質向上のための取組が行われているか	(4) 3 2 1
・ 職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 (3) 2 1

① 課題

〔 4年間の在籍期間に対しそれぞれの学年で目標を持ち、意欲を継続させることが必要である。 〕

② 今後の改善方策

〔 職業（資格）選択に対する指導を1年次から開始し、具体的な就労に向けての動きを早期に実施する。 〕

③ 特記事項

〔 特になし 〕

(4) . 学修成果 (医療ビジネス科)

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・ 就職率の向上が図られているか	4 3 2 1
・ 資格取得率の向上が図られているか	4 3 2 1
・ 退学率の低減が図られているか	4 3 2 1
・ 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4 3 2 1
・ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	4 3 2 1

① 課題

学校斡旋の学生は全員が就職内定しているが、企業でのインターンシップの評価により在学中に内定取り消しとなるケースが生じている。

② 今後の改善方策

学力的・能力的に不安がある学生に対しては、個別に対応し全体を底上げする必要がある。またインターンシップ中においても在学中であることを念頭に置き、報告・連絡・相談を怠らぬよう指導を徹底しなければならない。

③ 特記事項

特になし

(4) . 学修成果 (保育科)

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・ 就職率の向上が図られているか	4 3 2 1
・ 資格取得率の向上が図られているか	4 3 2 1
・ 退学率の低減が図られているか	4 3 2 1
・ 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4 3 2 1
・ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	4 3 2 1

① 課題

スケジュールが詰まっている就学の中で、出席率や学業成績が低い者は進級不可となり、そこから留年ではなく退学を選択するケースが多い。

② 今後の改善方策

進級不可から退学を選択するケースの対応策として、普段の学校生活や学業に対してだらしがなく努力できない学生や、著しく学力が低い学生に関して、担任はよく把握し継続的に根気よく指導・フォローして進級不可のボーダーにかからないよう努める。

③ 特記事項

特になし

(4) . 学修成果 (こども発達学科)

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・ 就職率の向上が図られているか	4 3 2 1
・ 資格取得率の向上が図られているか	4 3 2 1
・ 退学率の低減が図られているか	4 3 2 1
・ 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4 3 2 1
・ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	4 3 2 1

① 課題

個々の学生の学力、資質から専門職への適性を見極めることが重要である。
退学率の低下、就職した際の早期離職に繋がらない将来的人材育成の両立を目指す。

② 今後の改善方策

卒業と同時に取得できる資格の重みを再考したい。またその規定や基準をさらに明確にすることで一貫した学生指導を目指したい。

③ 特記事項

適性面で課題の多い学生など資格を取得しなくても卒業を目指すということも大きな目標となり得る学生も多い。
卒業後の学生の様子について把握できる体制をつくる。

(4) . 学修成果 (こども未来学科)

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・ 就職率の向上が図られているか	4 3 2 1
・ 資格取得率の向上が図られているか	4 3 2 1
・ 退学率の低減が図られているか	4 3 2 1
・ 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4 3 2 1
・ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	4 3 2 1

① 課題

1年次に進路変更等で退学を希望する学生がみられた。
4年間の就学を終えた後、公立の臨時職員として就職する割合が多い。

② 今後の改善方策

1年次の始業と同時に就職に向けた講義を増やし、働くことに希望を持たせる。
就職に向けて、1人でも多く公務員試験に合格できるように指導を強化していく。

③ 特記事項

特になし

(5) . 学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・ 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4 3 2 1
・ 学生相談に関する体制は整備されているか	4 3 2 1
・ 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4 3 2 1
・ 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4 3 2 1
・ 課外活動に対する支援体制は整備されているか	4 3 2 1
・ 学生の生活環境への支援は行われているか	4 3 2 1
・ 保護者と適切に連携しているか	4 3 2 1
・ 卒業生への支援体制はあるか	4 3 2 1
・ 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4 3 2 1
・ 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4 3 2 1

① 課題

上記項目の評価が「3」についても、より能動的な対応ができる体制づくりが望ましい。

② 今後の改善方策

卒業生の動向調査を行っていきたい。

③ 特記事項

特になし

(6) . 教育環境 (医療ビジネス科)

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・ 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4 3 2 1
・ 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4 3 2 1
・ 防災に対する体制は整備されているか	4 3 2 1

① 課題

〔 非常階段にやや老朽化している箇所がある。 〕

② 今後の改善方策

〔 非常階段を含め、施設を点検し不備がある箇所には修繕が必要である。 〕

③ 特記事項

〔 特になし 〕

(6) . 教育環境 (保育科)

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・ 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4 3 2 1
・ 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4 3 2 1
・ 防災に対する体制は整備されているか	4 3 2 1

① 課題

〔 多目的ホールや特別教室などは完備されているが、一度に授業を受ける人数に対し施設の規模がやや窮屈である。 〕

② 今後の改善方策

〔 運動遊びなどは時間割の組み方を工夫し、市営体育館などに移動し行う回数を多くすることで、活動の制限をなくしたい。 〕

③ 特記事項

〔 特になし 〕

(6) . 教育環境 (こども発達学科)

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・ 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4 3 2 1
・ 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4 3 2 1
・ 防災に対する体制は整備されているか	4 3 2 1

① 課題

学生数およびクラス増加に伴い、多目的ホール・図画工作室を使用する授業の調整が難しい。
また多目的ホールは運動施設として利用する場合にはクラス人数に対応した広さが必要である。
実習先確保が学生数増加と共に難しくなっている。

② 今後の改善方策

系列・付属園だけでなく協力していただける園を増やし、授業と実習のバランスをとる。

③ 特記事項

学内のネットワーク環境をさらに強化していきたい。

(6) . 教育環境 (こども未来学科)

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・ 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4 3 2 1
・ 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4 3 2 1
・ 防災に対する体制は整備されているか	4 3 2 1

① 課題

教員免許コース選択によって授業数が異なるため、教室以外の自習室の確保が課題となる。

② 今後の改善方策

落ち着いて自習ができる環境を確保できるように教室配置を心がける。

③ 特記事項

特になし

(7) . 学生の受入れ募集

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
	・ 学生募集活動は、適正に行われているか	4	3	2
・ 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	3	2	1
・ 学納金は妥当なものとなっているか	4	3	2	1

① 課題

〔 経済的な理由により支払の困難な者が依然多いため、学納金の納入時期・納入方法の見直しが必要と考える。 〕

② 今後の改善方策

〔 現在は延納・分納等に対応しているが、今後は奨学金などを利用する学生たちに対応できる新たな仕組みを検討していく。 〕

③ 特記事項

〔 特になし 〕

(8) . 財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
	・ 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	2
・ 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	3	2	1
・ 財務について会計監査が適正に行われているか	4	3	2	1
・ 財務情報公開の体制整備はできているか	4	3	2	1

① 課題

〔 特になし 〕

② 今後の改善方策

〔 特になし 〕

③ 特記事項

〔 特になし 〕

(9) . 法令等の遵守

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・ 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④ 3 2 1
・ 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④ 3 2 1
・ 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④ 3 2 1
・ 自己評価結果を公開しているか	④ 3 2 1

① 課題

〔 全項目について適正な運営を行うよう努めており、課題といえるものはない。 〕

② 今後の改善方策

〔 特になし 〕

③ 特記事項

〔 法令遵守のための体制を強化し、周知徹底することが重要である。また個人情報の保護に関しては、定期的な確認とともに意識の統一を図っていくことが大切である。 〕

(10) . 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・ 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4 ③ 2 1
・ 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	④ 3 2 1
・ 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	④ 3 2 1

① 課題

〔 ボランティア活動に参加する学生は増加しているが、特定の学生のための参加となっている。 〕

② 今後の改善方策

〔 多くの学生が多種多様なボランティア活動に参加できるように、情報発信を定期的に行い、選択して参加できるような工夫をしていく。 〕

③ 特記事項

〔 保育士資格特例講座を来年度は県内全域を対象に講座開講予定である。 〕

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

本校が挙げる「商業実務及び教育・社会福祉分野において、専門的な知識・技術と合わせ教養人格の高い道義・礼節・作法をも身につけた人材の育成」の教育目標を軸に、日々の積み重ねにより学生の指導、就職へと繋がっているのではないかと考える。今後も「道義・礼節・作法をも身につけた人材の育成」に向けた取り組みを継続的に行っていく。

学生の資質向上を現実的な目標とするために、当校では担任制の利点を生かした学生一人ひとりを大切にす手厚い指導を行っている。そこで明らかになる学生指導上の課題を主任会や職員会議を通して情報共有を図り、学校全体で学生一人ひとりを育てる体制をとっている。今後もこの体制を崩すことなく教職員共通認識の下で学生指導、学校運営を行っていききたい。

さらに学生の現状を踏まえた教育計画を立て、系列付属園や医療機関等における実習の充実、近隣地域との関わりによる学生の資質向上を目指した取り組みをしていくことを考えていきたい。そして、「こども分野」「医療分野」それぞれの分野に関わる業界ニーズをいち早く捉え、自立した学生の指導を目指していきたい。また、当校は教科指導と担任を併用して行っている。また、担任経験年数や経験職種の違い等もあることから、学校全体での教職員の資質向上に向け、教職員研修、研究活動などを充実させた取り組みをしていくことを考えていきたい。

最後に、この点検・評価は透明性と公開性の高い評価であり、本校が「専門学校等評価基準」に基づく自己点検・自己評価活動を適切かつ適正に行っていること、および本校の教育活動と学校運営の全てが基準を満たしていることを証明するものである。

本校はより良い教育の場であることを目指して更なる改善に努めたいと考えている。